

南会津 吉尾峠から野尻川白沢

古野

【日時】 2011年11月05日(火)～06日(水)

【メンバー】佐貫(L)、高橋、植島、鈴木、棚橋、田邊、浅井、前田(N)、前田(T)、古野

佐貫さんがゆったり山行に探してきたのは昨年の会山行が行われた白沢山の東面であったが、初日は野尻から吉尾峠を越えるという。どうも調べると江戸時代に巡見使が通った道らしい。図らずも先の米沢街道塩ノ道に続く古道探索となった。



吉尾峠は「よしゅうとうげ」と読む。只見の布沢から会津昭和の野尻までを辿る道で伊達政宗の時代にも田島側から吉尾峠で布沢、そして松坂峠を越えて横田に向かうルートが使われていた。昭和44年の水害までは峠の只見側に集落があったという。

吉尾峠まではよく整備された緩やかな道が沢沿いに続いている。牛馬も通れるような道である、もっとも沢をあちこち渡るが。少し汗ばんだくらいで峠に着く。社がある広々とした峠である。植島さんが落ち葉の上に落ちている山栗を見つけて拾い始めた。



キノコを探しに登った鈴木さんによるとここからの稜線に踏み跡があるらしい。

峠を下ると左側に芦の原っぱが広がる。道は芦の原の右端を辿るが湿地帯で歩きにくい。住居跡や分校跡がある。でも昭和時代まで人家があった痕跡は少ない。自然への回帰は早いようだ。ここで自分は白沢への乗り越しルートを誤解していた。そのため鎌倉沢のさらに下の方まで歩いて行ったら後ろから鈴木さんの笛。ずっと戻って鎌倉沢出合の2本上流側の沢近くの尾根に取り付くことに。道行沢を見下ろす小ピークを下ってC716mピーク東の3つ目の鞍部を越える。

天気予報が悪く、白沢山を諦めて白沢上～中流での泊まりに変更し、あとは下ればよい、とテンションを上げて、尾根を下ることに。白沢の上部左俣は何もないように思えた。

しかし沢に降りてみるとビックリ!沢床の岩がツルツルなのである。ちょっとした傾斜でも危ない。結局連続で3ピッチ分くらいザイルを出して下降。さらに15mの直瀑が。高巻きも難しそうなので懸垂することに。

何もないと思っていた鈴木さんはスワミベルトでの懸垂でした。

10人もいるのでザイルを出すとドンドン時間がかかる。結局C480mの三俣付近でテン場を探すことに。何とかテント二張り、宴会タープを張り終えたら4時近くになっていた。落ち着くとすぐに宴会に突入。まずはなんと言ってもナメコおろしからスタートである。



炉端焼きのような細長い焚き火が安定する頃からいろんなツマミが回り始めた。ムキ茸も存在感を持って味噌汁やパスタに顔を覗かせていた。

夜中には雨がタープを叩く音が聞こえたが、明日はのんびりだと気にならなかった。

翌朝は6時起き、10人分の具だくさんのうどんは一度には作れず、結局3時間後の出発、「いつもはこんなではないよ」と前田Sに釘を刺しておくのを忘れない。

白沢の下降はホントに何もなくて、あちこちの川岸にしっかりと踏み跡があった。赤沢を合わせると林道が出てきて、あらためて人家に近い「里沢」とも言える場所だな、と再認識した。

後は新蕎麦と道の駅での買い物と、わらじ納めのフィナーレとなった。

道の駅で「会津の峠」という本を買った。

むーん、峠は魅力的だなあ、、、。



■ 新人感想

♥山を始めて3年余り、よもや自分が登山道の無い山に行くとは思っていませんでした。

沢を始めて1年余り、よもや自分が遡行図も無い沢に行くとは…(以下同文)。

それはさておき、快適な古道歩きとキノコ採り、癒し系のはずが落葉の溜まったスラブや懸垂下降、繰り出される豪華つまみにキノコ料理、3時間にも及ぶ大朝食会、ダニにほっぺたを吸い付かれるというお土産つきの大変贅沢な山行となりました。

私には目からウロコでしたが、これがトマの山行なんだな、いい会に入ったな~というのが正直な感想です(いつもはこんなじゃないから誤解ないように!とのフォローもありましたが…)。

大所帯の上に新人同行で、リーダーの佐貫さんはじめ諸先輩方にはご厄介をかけつつ、初めてづくしの甘美な経験をさせてもらいました。ありがとうございました。

私はワンゲル出身でもなく、山岳会に入るのも初めてなので、意識の違う点多々あるかと思います。少しずつ覚えていきますので都度教えてください。よろしく申し上げます。



追伸：ダニは下山後の温泉パワーで無事に取れました。ホッ。（前田（N））

♣宴会山行ということで予想通りの食べきれない程のつまみ。翌日の天気はあいにくの下り坂で当然のように行程も短縮されたため、朝はかつて無いほどのゆったりとした時間をすごせました。佐貫さん曰く「軟派の極致」とのこと。

しかし、自分にはなかなか衝撃的な山行でした。

私たちは先達もなく勢いで沢を始めたので、メジャールートの日帰り山行が多く、楽しいんだけどなんか違うという気持ちをずっと抱いていました。人が多い沢はなんだか正解のあるコースに過ぎないんですね。沢登りの会に入ろうというわりには、正直いまいち沢登りが分かっていない状態でした。

今回は思い描いていた通りの沢登りがいろいろ体験できた感じです。決まっているようで決まっていない自由なルート取り、オマケのような懸垂下降。キノコに目を光らせる皆さん。大人の遊びだなあ。

という訳ですっかり沢に魅せられてしまいました。これからどのような沢に心を惹かれ通うかまだ分かりませんが、山の中で自由に楽しんでいきたいのは確実なような気がします。今後も各ジャンルの沢登りや雪山でお付き合いの程宜しくお願い致します。

（前田（T））

【行程】

11/05 野尻中向林道駐車<化物沢出合>（9:00）～吉尾峠（10:10/25）～稜線（12:40）～白沢上部三俣BP（15:30）

11/06 テン場（9:00）～赤沢出合（10:05）～国道（10:20）

【地図】野尻

